

## 「次世代エネルギー体験学習」を実施 ～地元小学生を招いて水素ステーション見学・燃料電池自動車試乗～

記者各位

当社(社長:西尾 進路)は9月20日(火)、横浜市旭区にあります「JHFC横浜旭水素ステーション」に地元小学校の子供たちを招き、「次世代エネルギー体験学習」を実施いたしました。

「次世代エネルギー体験学習」は、これからの時代を担っていく子供たちに、環境にやさしい次世代エネルギーについて興味をもって、楽しく学んでもらおうと当社が初めて企画したもので、当日は燃料電池のしくみについての学習や、水素ステーション設備の見学、燃料電池自動車の試乗走行、燃料電池自動車へ水素を充填する作業の見学を行いました。

子供たちは初めて訪れた水素ステーションについて「ガソリンのにおいがしない」、「立派な装置が沢山あって驚いた」、「水素が漏れないようになっていて安心した」と、スタッフの説明を聞きながら興味深そうな様子で見学していました。また、燃料電池自動車については「静かだった」、「排気ガスのおいしなかった」、「これなら車酔いしない」など、全国で走行する台数がわずか60台程度と言われる燃料電池自動車に試乗したことについて興奮した面持ちで感想を語ってくれました。

当社では、全国の製油所で実施される見学会や、中央技術研究所での子供科学教室など、今後とも地元の子供たちとの交流をはじめとした地域社会への貢献に積極的に取り組んでまいります。

### 記

1. 実施日時: 9月20日(火)10:00～15:00
2. 実施場所: JHFC横浜旭水素ステーション  
横浜市旭区上白根町1151-5
3. 対象 : 横浜市立大池小学校5年生2クラス 約50名
4. 内容 : (1)地球温暖化、水素エネルギー、燃料電池、燃料電池自動車についての学習  
(2)水素ステーション(水素製造・貯蔵・供給)設備見学  
(3)燃料電池自動車の試乗走行  
(4)燃料電池自動車への水素充填作業見学

以上

### 「JHFC横浜旭水素ステーション」について

当社は、2002年7月、経済産業省が実施する補助事業の一環として、(財)日本自動車研究所および(財)エンジニアリング振興協会が主体となって実施する、水素・燃料電池実証プロジェクト(JHFC※プロジェクト)に参画しました。本事業において、2003年3月、横浜市旭区白根町に日本初のナフサ改質による水素供給施設を設置し、同年4月より公道走行実証試験に使用する燃料電池自動車へ水素を供給しております。

当社として、この実証試験を通じ、水素インフラの整備に最大限貢献できるように取り組んでいきます。

※Japan Hydrogen & Fuel Cell Demonstration Project

当社は、石油精製の課程において、製品から硫黄などの不純物を回収する際に水素を使用するため、以前より、ナフサから水素を製造するための大型装置や様々な技術を持っておりました。そのため、横浜旭水素ステーションには、当社が長年に亘り、石油精製で培ってきた水素製造技術が随所に応用されており、高純度の水素を安全に製造し、燃料電池自動車に充填することが可能となっています。



燃料電池自動車の試乗



水素充填作業の説明